

## 平成28年度 全国学力・学習状況調査結果について

豊後高田市立臼野小学校

本校では学力向上を学校の重点目標の一つとし、授業改善の取組や小規模校の特性を生かした個に応じた指導を行っています。また、思考力・表現力を高める学習活動の研究を進めています。全国学力・学習状況調査結果の分析を通し、さらに一人ひとりの児童の学習指導・生活支援に努めていきます。

### 1. 全国学力・学習状況調査結果分析と今後の対策

#### 【国語 A】

領域で見ると、「読むこと」については比較的高い正答率を示しました。特に、物語文で登場人物の人物像を複数の叙述をもとに捉える問題がよくできていました。

音読みをする漢字の読み・書きはよくできていましたが、訓読みをする漢字の読み・書きは低い正答率でした。また、ローマ字の読み書きが定着していませんでした。

#### 【国語 B】

目的や意図に応じて、グラフをもとに自分の考えを書く問題がよくできていました。これは、算数で帯グラフの読み取り学習ができていたことと、「のびのび（学習）タイム」や家庭学習で読み取りの問題に取り組んできた結果だと考えられます。

領域で見ると、「話すこと・聞くこと」に課題が見られます。インタビューをする場面で、目的に応じて質問を整理したり、質問の意図を捉えたりすることができていませんでした。

今後は、文章を書く際に既習の漢字を使うこと、漢字の読み・書きを繰り返し練習することに重点的に取り組みます。（特に訓読みをする漢字）また、ローマ字については定期的に復習をして定着を図ります。

「話すこと・聞くこと」の力を伸ばすために、質問したいことの主旨をはっきりさせて尋ねるように指導していきます。さらに授業等において考えを交流する際、常に「自分・相手が伝えたいこと」「共通点・相違点」を意識して話したり聞いたりさせます。あわせて朝読書を活用して様々なジャンルの本に親しませ、読書の楽しさを味わわせるとともに、語彙を増やし、思考力を高めることにつなげていきます。

### 【算数 A】

領域では「数と計算」「図形」、観点では「数量や図形についての技能」についての平均正答率が高くなっています。これは、少人数ならではのきめ細かな指導と毎日10分間の「のびのび（学習）タイム」の取組や家庭学習の徹底が基礎基本の力を定着させることにつながっているためだと考えられます。

一方、「量と測定」「数量関係」の領域に課題が見られます。これは、単位量あたりの大きさの求め方や割合の意味を正しく理解できていないことが要因だと考えられます。

### 【算数 B】

全体的によくできていました。

観点で見ると、数量や図形についての技能および知識・理解に関する問題で高い正答率を示しています。日常的に一人ひとりに応じた個別指導ができていたためだと考えられます。

問題の形式では短答式・選択式で正答率が高くなっています。記述式では、式の意味や正しくない理由を説明することができていない問題がありました。

今後は、線分図を活用して「単位量あたり」や「割合」の意味を確認します。そして、もとにする量の求め方の復習をしたり、問題文を線分図に表して立式する練習をしたりして、「量と測定」「数量関係」の領域の力を伸ばします。

また、授業中に書く時間と話す時間を設定し、図形・グラフ・文などから読み取ったことをもとに説明したり、自分の考えを述べたりする活動を多く仕組んでいきます。

## 2. 児童質問紙回答結果について

回答の結果から、「自分たちで話し合ってきたりを決め、守っている。」「地域の行事やボランティア活動に進んで参加している。」「いじめはどんな理由があってもいけないし、困っている人がいるときは進んで助けている。」「人の役に立つ人間になりたい。」という意識が高いことが分かりました。

一方で、「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」「新聞を読んでいますか」の質問には否定的な回答をしています。

今後は、学校で学んでいることを身のまわりのことと関連づけて考えさせる機会を増やします。同時に、新聞に親しませることを通して、地域や社会にも目を向けさせたいと考えます。また、小規模校の特性を生かした様々な体験活動を経験させることにより、互いに支え合う関係を築くとともに、一人ひとりの力を伸ばしていきます。